

令和 7年度予算見積調書

課室名：行政・デジタル改革課

担当名：TX推進・行政改革担当

内線：2129

(単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業		
p9	既存紙文書の電子化等推進事業				一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	行政改革推進費		
事業期間	令和 5年度～令和 9年度	根拠法令	なし				針路分野施策	080805	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上		SDGsゴール 9 SDGsターゲット
1 事業概要 紙資料を見るために出勤しているケースもあり、どこでも働くことができる環境を実現するため、既存紙文書を電子化する。 あわせて、職員の生産性向上を図るため、既存紙文書やそれらを保管していたキャビネット等を撤去して生み出した空間を活用し、集中ブースや打合せスペース等の効率的な執務空間に再構築する。					5 事業説明 (1) 事業内容 ア 既存紙文書の電子化事業 320千円 会計年度任用職員を採用し、執務室内で保管している文書を一括して電子化する。 イ 既存紙文書の廃棄と執務空間再生事業 13,726千円 既存紙文書やそれらを収納しているキャビネットの撤去で生み出した空間を活用し、集中作業用ブースや打合せスペース等の効率的な執務空間に再生する。 (2) 事業計画 ア 既存紙文書の電子化事業 令和7年4月～ 電子化作業 イ 既存紙文書の廃棄と執務空間再生事業 令和7年4～6月 執務空間再生事業参加意向調査 令和7年6～8月 執務空間再生事業実施事務所の検討 執務空間再生事業実施事務所の決定、廃棄等作業準備 令和7年10～11月 機密文書、キャビネット等廃棄の実施 令和7年11月～ 執務空間の整備 (3) 事業効果 ア 既存紙文書の電子化事業 既存紙文書の電子化によって、紙を見るために出勤する必要がなくなり、どこでも働ける環境が整うことにより、育児や介護等の事情がある職員を含め誰もが最大限能力を発揮できる。 イ 既存紙文書の廃棄と執務空間再生事業 ・ 執務室の紙文書が縮減されることで、執務室にスペースを生み出し有効活用できる環境が整う。 ・ Web会議や集中作業など場面に応じた職務空間で作業することで職員の生産性が向上する。 【活動指標（アウトプット）】 既存紙文書の電子化実施課所数 約60事務所 【成果指標（アウトカム）】 執務空間再生後の職員アンケート満足度 80%以上						
ア 既存紙文書の電子化事業 320千円 イ 既存紙文書の廃棄と職務空間再生事業 13,726千円											
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人＝19,000千円											

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
決定額	14,046							14,046	△3,512
前年額	17,558							17,558	

事業内訳書

事業名	既存紙文書の電子化等推進事業		
単位事業名	既存紙文書の電子化事業	予算額	320千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	320	△853	
合計	320	△853	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	169	0	スキャナー保守管理委託料
使用料及び賃借料	151	△853	スキャナー賃貸借料
合計	320	△853	

単位事業名	既存紙文書の廃棄と職務空間再生事業	予算額	13,726千円
-------	-------------------	-----	----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	13,726	△2,659	
合計	13,726	△2,659	

単位事業名	既存紙文書の廃棄と職務空間再生事業	予算額	13,726千円
-------	-------------------	-----	----------

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	19	19	地域機関現地調査等 12回分
需用費	9,237	△893	机等消耗品
役務費	744	△2,459	キャビネット等撤去
委託料	82	△660	紙文書の廃棄
備品購入費	3,644	1,334	ロッカー等備品
合計	13,726	△2,659	